

# 令和5年度事業報告書

公益社団法人第12期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

2024年6月22日総会提出

公益社団法人日本地理学会が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款4条1号）
- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款4条2号）
- ③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業（定款4条3号）
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款4条4号）
- ⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款4条5号）
- ⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款4条6号）
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款4条7号）

## I 事業の状況

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款4条1号）

### 1) 研究発表会等

集会名	開催年月日	参加者
(1)秋季学術大会(関西大学)	2023年9月17日～9月19日	517名
口頭発表(93)、ポスター発表(41)、シンポジウム(2件・14)	9月17日～9月18日	
高校生ポスターセッション(19)(オンライン)	9月14日～9月20日	150名
公開巡検	9月16日	20名
公開講演会	9月16日 対面74名・オンライン22名	
研究グループ集会(12件)	9月18日	
公開講座 GIS公開講習会	9月18日	
巡検2件	9月19日	
(2)春季学術大会(青山学院大学)	2024年3月19日～3月21日	861名
口頭発表(181)、ポスター発表(94)、シンポジウム(7件・56)	3月19日～3月20日	
高校生ポスターセッション(75)	3月20日	861名
研究グループ集会(16件)	3月20日	
巡検1件	3月21日	24名
公開講座 GIS公開講習会	3月20日	

### 2) 総会等

- |          |                 |        |        |       |
|----------|-----------------|--------|--------|-------|
| (1) 定時総会 | 2023年6月24日      | 出席者4名  | 委任状76名 | 合計80名 |
| (2) 臨時総会 | 2024年3月18日      | 出席者38名 | 委任状54名 | 合計92名 |
| (3) 代議員会 | 2023年9月17日(第1回) | 出席者43名 |        | 合計43名 |
|          | 2024年3月18日(第2回) | 出席者38名 |        | 合計38名 |
| (4) 理事会  | 5回・常任理事会        | 12回    |        |       |

- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款4条2号）

### 1) 学会誌の刊行

- (1) 「地理学評論 (Geographical Review of Japan Series A)」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
令和5年 5月1日	96 3	3,500部
令和5年 7月1日	96 4	3,500部
令和5年 9月1日	96 5	3,500部
令和5年 11月1日	96 6	3,500部
令和6年 1月1日	97 1	3,500部
令和6年 3月1日	97 2	3,500部

計6冊(96巻3号～97巻2号) 430ページ

論説6編、短報5編、総説1編、書評31編、会長講演1編、地理学関係博士論文要旨、学会記事等を掲載した。

(2) オンライン学会誌「Geographical Review of Japan Series B」(J-STAGE 公開)を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号
令和5年9月29日	96 1
令和5年12月28日	96 2

計2冊(96巻第1号・96巻2号電子ジャーナル) 49ページ

96巻1号には、論説1編、プログレスレポート1編、書評1編を掲載した。96巻2号には、論説1編を掲載した。

(3) オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻 号
令和5年 6月23日	18 1
令和5年 12月14日	18 2
令和6年 3月16日	19 1

計3冊(17巻1号～2号、18巻1号・電子ジャーナル) 513ページ

18巻1号には、調査報告4、地理教育総説記事2編、地理紀行2編、特集序文1編、秋季学術大会シンポジウム記事2編、秋季学術大会巡検報告2編、秋季学術大会公開講演会記事1編、18巻2号には、調査報告9編、地理教育総説記事2編、解説記事2編、地理紀行1編、特集序文1編、春季学術大会シンポジウム記事5編、春季学術大会巡検報告2編、秋季学術大会シンポジウム記事2編、秋季学術大会巡検報告2編、秋季学術大会公開講演会記事1編、19巻1号には、調査報告6編、解説記事1編、地理紀行2編を掲載した。

2) その他の刊行物の刊行

「日本地理学会発表要旨集」を下記のとおり発行した。

発行年月日	号	発行部数
令和5年 9月10日	104	600部
令和6年 3月10日	105	1,000部

計2冊(104号～153号) 478ページ

③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業(定款4条3号)

- 1) 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務めた。
- 2) 地理学連携機構に加盟し、代表委員を送り、事務局を務めた。
- 3) 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送るとともに、関連する委員会に必要に応じて委員を送った。
- 4) 人文・経済地理関連学会協議会に加盟し、代表委員を送った。
- 5) 自然史学会連合に加盟し、代表を送った。
- 6) 日本ジオパーク委員会活動に協力した。
- 7) 防災学術連携体に参加し、代表を送った。
- 8) 以下の27件について、他学会との交流を行った。

(1) 2023年日本地球惑星科学連合大会

2023年5月21日(日)～26日(金)に幕張メッセでハイブリッド形式で開催された。

自然資源・環境に関する地球科学と社会科学の対話、人間環境と災害リスク、Geographic Information Systems and Cartography、地理情報システムと地図・空間表現、博士の生活をのぞいてみよう!【中高生向けセッション】(共催)

(2) 第39回地図地理検定(後援)

2023年6月18日(日)に開催された。

- (3) 第10回「震災対策技術展」大阪（後援）  
2023年7月6日（木）・7日（金）にマイドームおおさかにおいて開催された。
- (4) 公開シンポジウム「食・土・肥料—SDGs 達成のための基礎科学として」（後援）  
2023年7月29日（土）東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂において開催された。
- (5) 全国中学校地理教育研究会第64回全国研究大会（後援）  
2023年8月4日（金）～8月5日（土）に世田谷区立芦花中学校において開催された。
- (6) 第17回科学地理オリンピック日本選手権大会兼第19回国際地理オリンピック選抜大会（共催）  
2023年8月8日（火）～7月14日（月）にインドネシア・バンドンで開催された。
- (7) 地図展2023 名古屋（後援）  
2023年9月15日（金）～9月20日（水）に名古屋国際センター4階展示室において開催された。
- (8) 広島県「第62回地図ならびに地理作品展」（後援）  
2023年9月16日（土）～9月29日（金）に5-Days こども文化科学館において展示が開催された。
- (9) 第25回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展（後援）  
2023年9月23日（土）～12月16日（土）に鳥取市歴史博物館、倉吉未来中心、とりぎん文化会館、鳥取敬愛高校において開催された。
- (10) 総合地球環境学研究所 地球人間システムの共創プログラム公開シンポジウム「社会正義と地球環境—包摂的な未来社会に向けて」（後援）  
2023年9月25日（月）に総合地球環境学研究所およびオンラインで開催された。
- (11) GIS day in 四国2023（後援）  
2023年10月25日（水）に愛媛大学（城北キャンパス）において開催された。
- (12) GPS/GNSS シンポジウム2023（協賛）  
2023年10月25日（水）～10月27日（金）に東京海洋大越中島会館において開催された。
- (13) シーボルト来航200年記念シンポジウム「出島での気象観測とその歴史的意義 環境史・東西交流史の観点から」（後援）  
2023年10月28日（土）出島メッセ長崎とオンラインで開催された。
- (14) 2023年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」（後援）  
2023年10月28日（土）に電気通信大学において、初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員に対し、表彰が行われた。
- (15) 旭川市「第33回私たちの身のまわりの環境地図作品展」（後援）  
2023年10月28日（土）・10月29日（日）に旭川市科学館サイパルにおいて開催された。
- (16) GIS day in 大阪2023（後援）  
2023年11月8日（水）に大阪公立大学（杉本キャンパス）で開催された。
- (17) 岐阜県「第29回児童生徒地図作品展」（後援）  
2023年11月11日（土）～11月26日（日）に岐阜県図書館において開催された。
- (18) 第40回地図地理検定（後援）  
2023年11月12日（日）に開催された。
- (19) GIS day in 東京2023（後援）  
2023年11月18日（土）に東京都立大学南大沢キャンパスにおいて開催された。
- (20) 先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2023（後援）  
2023年11月21日（火）～22日（水）にグランメッセ熊本で開催された。
- (21) 多摩市「第27回身のまわりの環境地図作品展」（後援）  
2023年12月1日（金）～終了日未定で多摩市公式ホームページ、12月2日（土）～3日（日）ベルブ永山で開催された。
- (22) 第11回中部ライフガードTEC2023—防災・減災・危機管理展—（協賛）  
2023年12月6日（水）・7日（木）、ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）において開催された。
- (23) GIS day in 中国2023（後援）  
2023年12月7日（木）に広島大学東広島キャンパスにおいて開催された。
- (24) 第27回全国児童生徒地図優秀作品展（後援）  
2024年1月4日（木）～2月18日（日）に地図と測量の科学館、国土交通省1階展示コーナー、科学技術館サイエンスギャラリー、NHK大阪放送会館アトリウムにおいて開催された。
- (25) 国際地下文化遺産シンポジウム2024（後援）  
2024年1月6日（土）～8日（月）鴻巣市民活動センター、栄公会堂において、シンポジウムが開催され、「吉見百穴」現地討論会、「田谷の洞窟」現地討論会・ガイドツアーが開催された。

(26)シンポジウム「諏訪の地理、信州の地理と市民科学」(共催)  
2024年1月20日(土) アーク諏訪3階すわっチャオにおいて開催された。

(27)第20回全国バスマップサミット in TOKYO 江戸川(後援)  
2024年2月3日(土) 江戸川区総合文化センター・研修室において開催された。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業(定款4条4号)

1) 2023年度日本地理学会賞受賞者を表彰した。

優秀論文部門:該当なし

若手奨励部門(1名):鈴木修斗

論文発信部門(1名):大矢幸久

優秀著作部門(1名):杉江あい

著作発信部門(1名):羽田康祐

地理教育部門(1名):小橋拓司

学術貢献部門(1件):伊藤達雄・鈴木康弘

社会貢献部門(1名):全国へそのまちな協議会

2) 2023年度吉野賞受賞者を選考した。表彰および記念講演は2024年度に実施する。

松本 淳(東京都立大学名誉教授・客員教授・プレミアムカレッジ特任教授、横浜国立大学総合学術高等研究院  
台風科学技術研究センター客員教授)

Matthias Roth(シンガポール国立大学教授)

3) 以下の2件について、出版助成を行った。

阿部和俊編著:『日本の都市地理学研究』古今書院

若林芳樹著:『行動地理学研究』古今書院

4) 吉野正敏研究助成については、応募者がなかった。

5) 災害地理学研究助成として、若手研究者に対する災害地理学に関する調査・研究助成を行った。

平峰玲緒奈:「小笠原諸島父島・母島に漂着した軽石の給源火山推定の試み」

6) 若手研究者国際会議派遣助成については、応募者がなかった。

⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業(定款4条5号)

1) GIS学術士資格認定制度

2023年度は3回の委員会を開催した。2024年2月28日現在のGIS学術士実績証明団体は31、GIS専門学術士実績証明団体は10である。GIS学術士37名、GIS学術士(見込み)41名の認定を行った。

2) 地域調査士資格認定制度

2023年度は4回の講習会及び3回の認定委員会を開催した。講習会の受講者(のべ人数)は、地域調査士講習会183名、専門地域調査士講習会5名であった。20名が地域調査士として認定された。2022年度認定相当の「申請前部分審査」適合者の申請に基づき103名を認定した(2023年4月8日)。ほかに、専門地域調査士2名、専門地域調査士10年更新者7名の認定を行った。さらに、2023年度内の認定に相当する「申請前部分審査」適合者の申請を受け付けた(61名)。2024年3月末現在の地域調査士科目認定校は26大学・30学科(コース)、専門地域調査士科目認定校は5大学院である。『地域調査とGIS』(旧地域調査士通信)を発行した(2024年3月第15号)。

3) 「G空間EXPO2023」(2023年12月22日(金))に参加し、「地域に飛び込む若者:なぜ今地域か?」の企画を実施した。オンライン・シンポジウムは事後に公開したYouTubeの視聴も含めて、約260名の視聴を得た。

4) 地図調製技術協会と共催で、大学生を対象としたサマースクール(2023年9月7日)「地図づくりで社会に貢献する地理学」を対面とオンラインのハイブリッドで実施した。26名(対面17名、オンライン9名)の参加者があった。

5) 国際地理オリンピック大会(インドネシア・バンドン)を支援した。国内大会および来年度の国際大会への派遣に向け、科学地理オリンピック兼国際地理オリンピック選抜試験を支援した。

6) 秋季学術大会において、一般市民を対象とする公開講演会「世界地誌学習の新たな方向性——ヨーロッパと地誌学習」(参加者127名)、「地理総合」開始後の地理教育における課題と展望(参加者約100名)、「大阪・吹田再発見〜古環境、歴史風土、都市のかたち〜」(ハイブリッド・参加者75名)を実施した。また春季学術大会において、「緊急シンポジウム 令和6年能登半島地震」(ハイブリッド・参加者340名)、「次期改訂に向けての小中高地誌学習の新たな方向性」(参加者95

名)、「災害地理学の発展をめざして——日本地理学会の災害対応開始から四半世紀の歩みと今後の展望——」(参加者 100 名)、「国際地理教育界におけるカリキュラムとペタゴジーをめぐる研究の展望——『ジオケイパビリティズ』プロジェクトを気塾に——」(「ジオ・ケイパビリティズ」プロジェクトの国際的な動向を受けて、ユトレヒト大のベネカー教授による基調講演のほか、6名の発表を通して強力なペタゴジーについて検討を行った。参加者 60 名)を実施した。

7) 秋季学術大会および春季学術大会において、高校生によるポスターセッションを実施した。秋季 19 件、春季 75 件。優れたポスター発表に対して賞を授与した。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業 (定款 4 条 6 号)

1) 日本地球惑星科学連合 2023 年大会

自然資源・環境に関する地球科学と社会科学の対話、人間環境と災害リスク、Geographic Information Systems and Cartography、地理情報システムと地図・空間表現、博士の生活をのぞいてみよう！【中高生向けセッション】を共催して提案した。

2) 第 15 回中日韓地理学会議 (後援)

2023 年 10 月 20 日～23 日に韓国・ソウル市立大学で開催された第 15 回韓中日地理学会議を後援した。日本からの参加者は 11 名 (大学院生、ポスドクが 7 名) で、発表者 2 名が若手地理学者賞 (Young Geographer Awards) を受賞した。小口高会長が基調講演を行った。

⑦ その他目的を達成するために必要な事業 (定款 4 条 7 号)

1) 東日本大震災ほかの災害に対する調査研究および社会貢献事業

2) ジオパークに関する調査研究および社会貢献事業

II. 処務の概要

① 役員等に関する事項

令和 4 年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	箸本 健二	令和 4 年 6 月 25 日		なし	早稲田大学教授	
常務理事	非常勤	呉羽 正昭	令和 4 年 6 月 25 日	総務専門委員長	なし	筑波大学教授	
常務理事	非常勤	堤 純	令和 4 年 6 月 25 日	財務専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	伊藤 徹哉	令和 4 年 6 月 25 日	総務専門副委員長	なし	立正大学教授	
理事	非常勤	有馬 貴之	令和 4 年 6 月 25 日	財務専門副委員長	なし	横浜市立大学准教授	
理事	非常勤	鈴木 康弘	令和 4 年 6 月 25 日	集会専門委員長	なし	名古屋大学教授	
理事	非常勤	久保 純子	令和 4 年 6 月 25 日	集会専門副委員長	なし	早稲田大学教授	
理事	非常勤	山本佳世子	令和 4 年 6 月 25 日	交流専門委員長	なし	電気通信大学教授	
理事	非常勤	矢野 桂司	令和 4 年 6 月 25 日	企画専門委員長	なし	立命館大学教授	
理事	非常勤	大城 直樹	令和 4 年 6 月 25 日	広報専門委員長	なし	明治大学教授	
理事	非常勤	松山 洋	令和 4 年 6 月 25 日	E-journal GEO 編集専門委員長	なし	東京都立大学教授	
理事	非常勤	山本 充	令和 4 年 6 月 25 日	地理学評論編集専門委員長	なし	専修大学教授	
理事	非常勤	若林 芳樹	令和 4 年 6 月 25 日	Geographical Review of Japan Series B 編集専門委員長	なし	東京都立大学教授	
理事	非常勤	井田 仁康	令和 4 年 6 月 25 日	地理教育専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	島津 弘	令和 4 年 6 月 25 日	資格専門委員長	なし	立正大学教授	
監事	非常勤	岡橋 秀典	令和 4 年 6 月 25 日		なし	奈良大学教授	
監事	非常勤	山田 晴通	令和 4 年 6 月 25 日		なし	東京経済大学教授	

## ② 職員に関する事項

令和5年度末現在

勤務形態	当期末 (令和5年3月末)	前期末比増減
常勤	1名	0名
非常勤	2名	1名

## ③ 会議等に関する事項

## (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和5年6月3日	1. 会員の入退会について 2. 2022年度の事業報告について 3. 2022年度の決算報告について 4. 2023年度定時総会の開催について 5. 監査報告	承認 承認 承認 承認 承認
令和5年9月30日	1. 会員の入退会について	承認
令和5年12月9日	1. 会員の入退会について 2. 会長に関する規程の改正について 3. 学会ロゴの使用に関する規程について 4. 百周年ロゴの使用に関する規程について 5. 松本淳論文賞に関する規程類について 6. 名誉会員候補者の推薦について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和6年3月2日	1. 会員の入退会について 2. 財務報告について 3. 2023年度臨時総会および第2回代議員会の開催について 4. 令和5年度補正予算案について 5. 令和6年度事業計画案について 6. 令和6年度収支予算案について 7. 理事会推薦理事予定者の推薦について 8. 「創立百周年記念寄付金」取扱規程の制定ならびに趣意書の改訂について 9. 事務職員雇用安定化積立預金に関する規程の制定について 10. 年会費収入安定化積立預金に関する規程の制定について 11. 百周年ロゴの使用に関する規程の改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

## (2) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和5年6月24日	1. 2022年度事業報告の承認に関する件 2. 2022年度収支決算の承認に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認
令和6年3月18日	1. 名誉会員の推薦に関する件	全会一致で承認

事業報告の附属明細書

該当なし